

危険とは隣り合わせ 安全こそ判断基準に

大阪市議会
万博推進特別委

山中智子議員が質問

昨年12月25日に開かれ

故が発生するなど、夢洲の会代表代行)に、開催

た大阪市議会万博推進特別委員会で、日本共産党

での万博開催は危険だとの判断基準を安全に置くべき」と述べた上で、

の山中智子議員が質問し、メタンガスの爆発事

横山英幸市長(大阪維新『成功』と言うのか、明

確にすべき」とただしたのに対し、横山氏は「来場者の安全・安心を最優先に取り組むのは当然」としつつ、「世界161の国・地域が参加することに意義がある」と答えるにとどまりました。

山中氏は、「夢洲での開催は、他の場所でのイベントと全く異なる」と力説。メタンガスの爆発、子どもたちの遠足の移動や熱中症対策、災害時の対策など「命に関わる危険と隣り合わせの万博だ」と述べました。

さらに想定外の事態が起きた場合は中止を判断する必要がある、天候が危ぶまれる場合や、昨年



質問する山中議員1120

24年12月25日、大阪市議会万博推進特別委員会

8月のような「南海トラフ臨時情報」が出る事態になれば、十分な期間閉鎖するなど、安全に重点を置くよう求めました。

横山氏は、「専門家や関係機関と連携して安全確保に万全を期す」と答えたのに対し、山中氏は、現在のメタンガス対策や災害対策では駄目だと批判する専門家もいると反論。「どんな経過で夢洲での万博開催を決めたのか、市民に何をもちたのかを、厳しく検証する必要がある」と述べました。

横山氏が、府・市などでつくる検討会議で夢洲開催を決めたと答えたのに対し、山中氏は「正式な会議での意思決定ではなかったことは明らか。(運営費が)赤字になったからといって、平気な顔で市費を出すことは認められない。意思決定をした人たちが責任を持つべき」と主張しました。